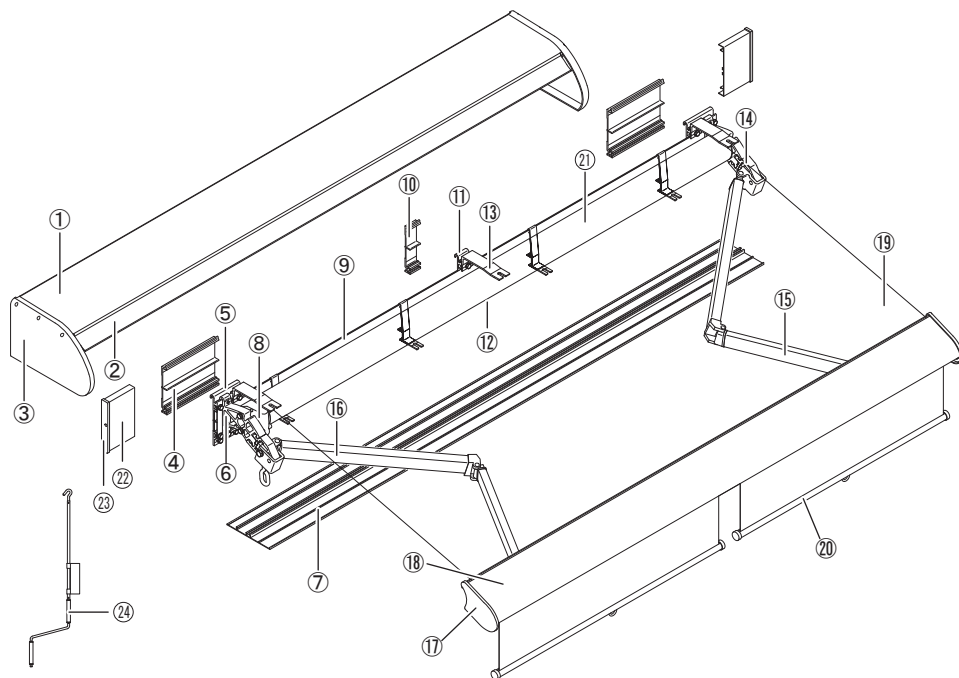


1-1 主要部材名称 (ローリングシェイドタイプ) ※以下RSタイプと記す

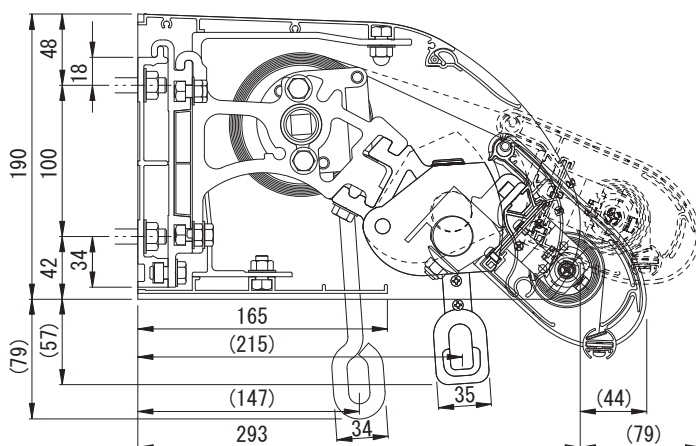


No	名 称
1	上ケース ※1
2	フロントカバー
3	ケース側板
4	ベースプレート
5	ベースブラケット
6	サイドブラケット
7	下ケース ※2
8	手動ギア ※3
9	ベースガイド
10	補助ベースプレート ※4
11	補助ベースブラケット ※5
12	下ケースホルダー
13	上ケースホルダー ※6
14	アームブラケット
15	アーム (右)
16	アーム (左)
17	RS前枠キャップ
18	RS前枠
19	キャンパス
20	RS機構
21	巻取パイプ
22	ベースカバー ※7
23	カバーキャップ
24	クランクハンドル ※8

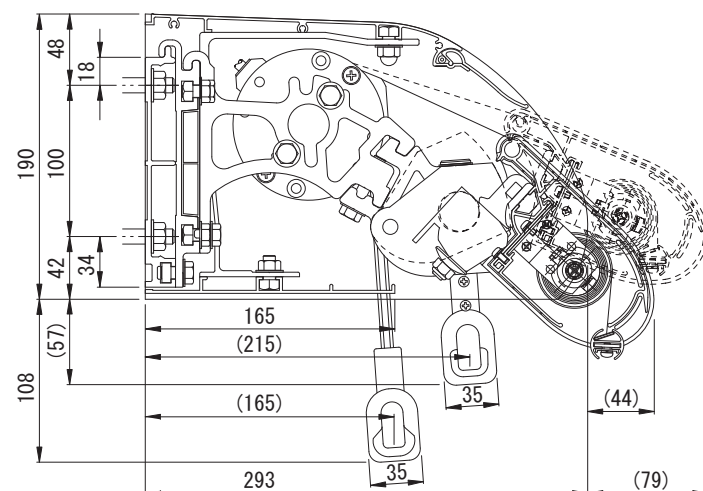
- ※1 上ケースはオプション品です。(セット部品にフロントカバー・ケース側板・上ケースホルダー・締結部品・チューブが含まれます)
- ※2 下ケースはオプション品です。(セット部品に下ケースホルダー・締結部品が含まれます)
- ※3 手動ギアは手動タイプでの設定です。その他に電動・電手動タイプの設定もあります。逆転防止機構付ギア (G2 型) は取り付けが出来ませんのでご注意ください。
- ※4 補助ベースプレートは間口規格 2 間で使用。
- ※5 補助ベースブラケットは間口規格 2 間で使用。
- ※6 中央の上ケースホルダーは間口規格 2 間で上ケースを設定した場合で使用。
- ※7 ベースカバーはオプション品です。(セット部品にカバーキャップ・締結部品が含まれます)
- ※8 クランクハンドルは、電動タイプにも付属されます。
- ※9 2.5 間は規格対象外となります。

1-2 断面納まり図 (RSタイプ)

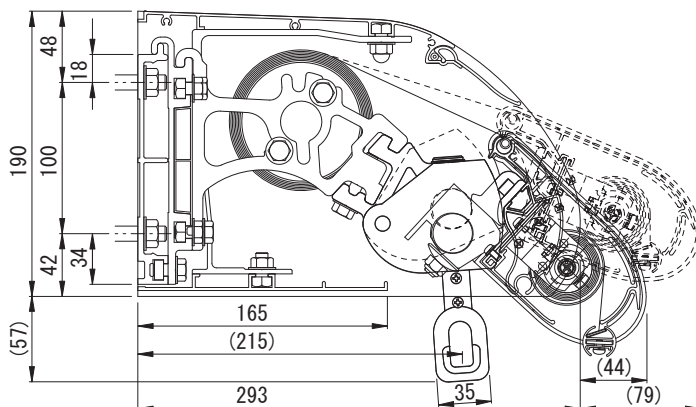
[1] 手動タイプ ※逆転防止機構付ギアは取り付け出来ません。



[2] 電手動タイプ



[3] 電動タイプ

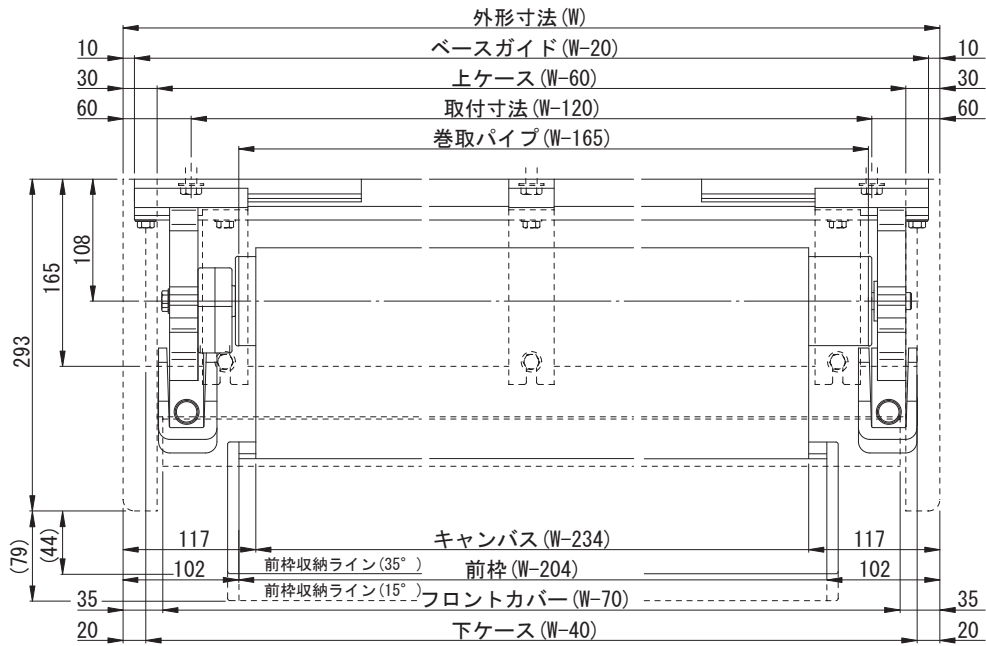


[注意]

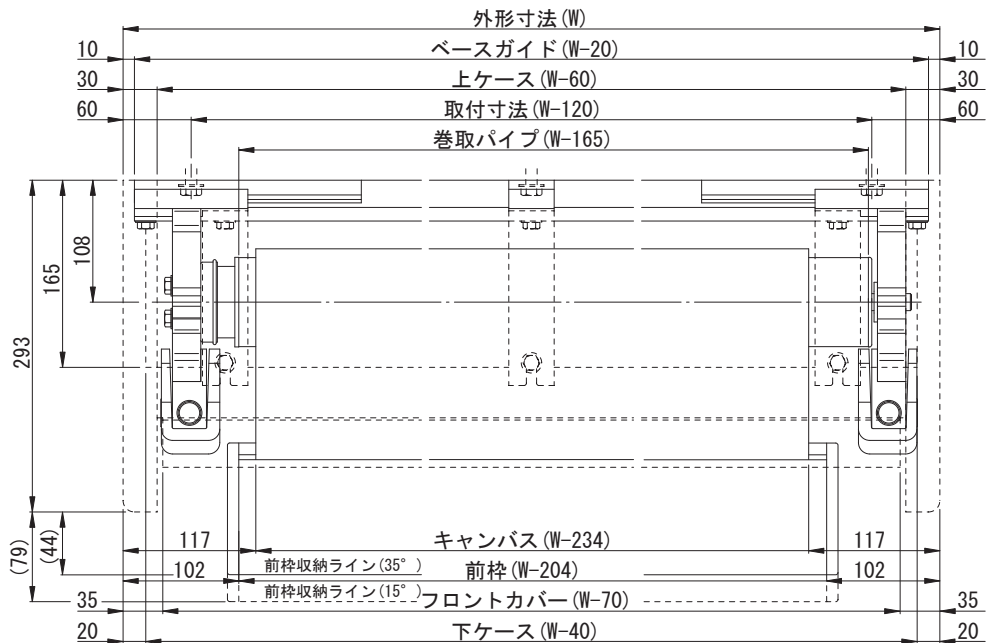
- ※手動タイプで逆転防止機構付ギア (G2 型) は取り付け出来ません。
- ※図はキャンパス角度 15° (点線) ~ 35° (実線) 時での納まりです。キャンパス角度によって、前枠の納まり位置は変化します。
- ※ベースプレートは製品の重量及び使用に耐えられる構造体に直接取り付け下さい。
- ※ベースプレートは平らな面に取り付けて下さい。凹凸面に取り付けるとベースプレートの変形、取り付け面の変形により事故の原因となります。
- ※操作ハンドルは標準でセットされます。サイズは 7 ページの表を参照下さい。

1-3 平面納まり図 (RSタイプ)

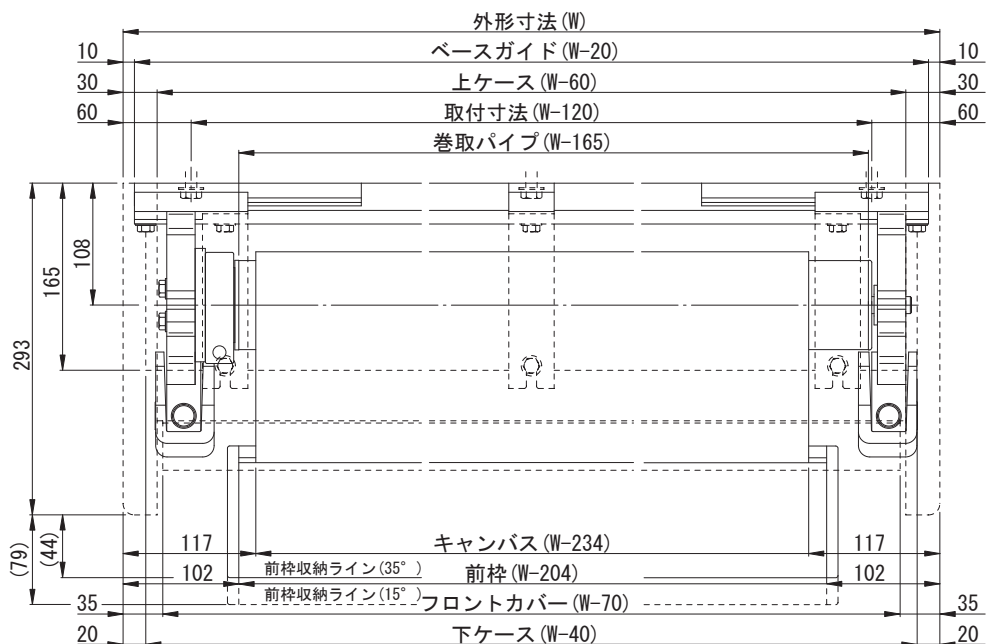
[1] 手動タイプ ※逆転防止機構付ギアは取り付け出来ません。



[2] 電動タイプ



[3] 電手動タイプ



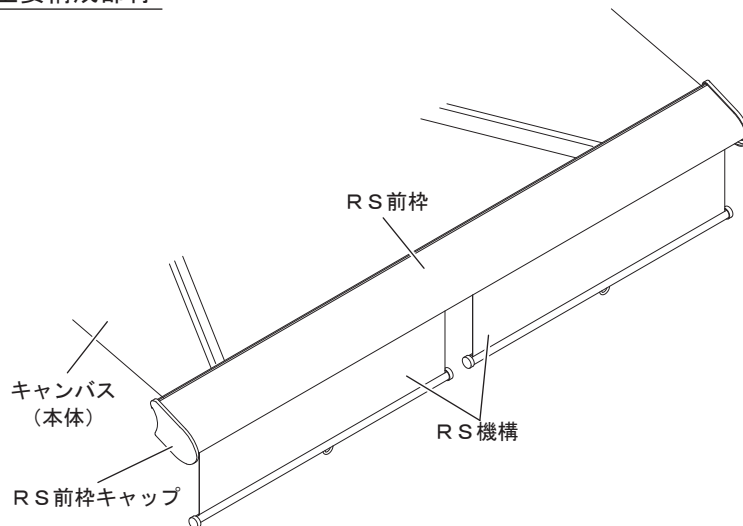
2-1 設定範囲

間口規格	外形寸法 (W)	機構本数	備考
1.0間	1,430 ~ 1,940 mm	1本	※1,430mm未滿の間口は設定不可
1.5間	1,950 ~ 2,580 mm	1本	
	2,590 ~ 2,850 mm	2本	
2.0間	2,860 ~ 3,760 mm	2本	

※2.5間は規格対象外となります。

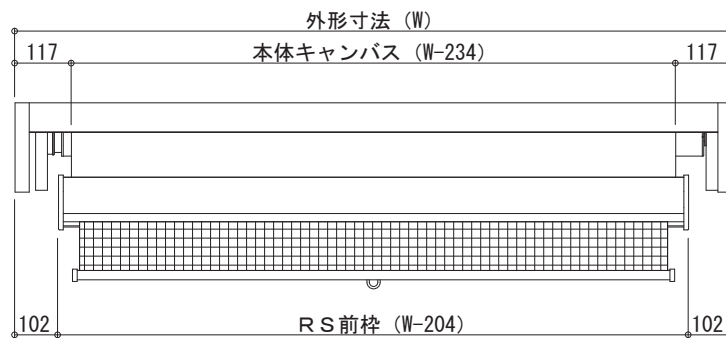
※間口方向の最小切詰め寸法は10mmピッチとなります。

2-2 主要構成部材

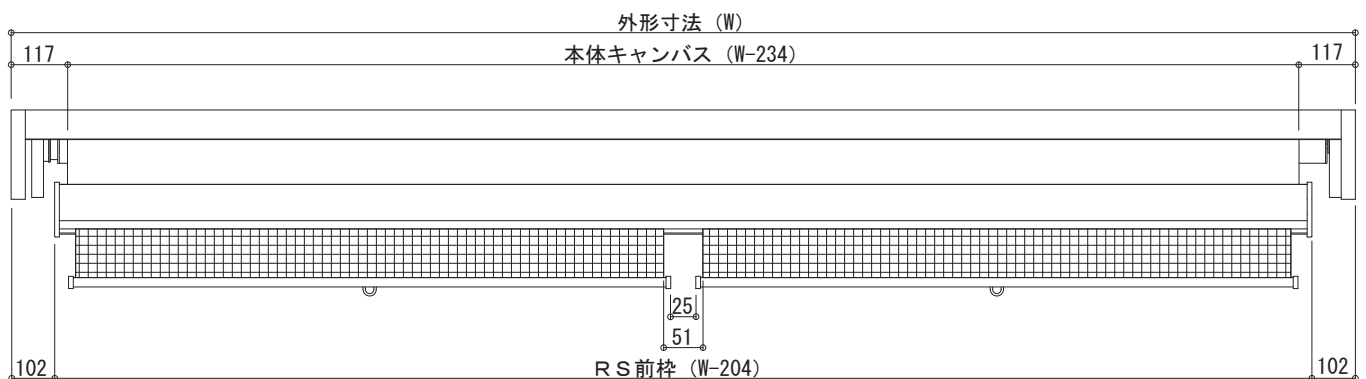


2-3 標準構成寸法

[1] 1本機構



[2] 2本機構



2-4 部材寸法設定表

RS部材の寸法設定は、下表の通りです。

(単位：mm)

間口規格	外形寸法	前枠	巻取パイプ	ウェイトバー	キャンバス ^{※3}	備考	
	W	W-204	W-318 (W-378) / 2 ^{※1}	W-283 (W-308) / 2 ^{※1}	W-309 (W-360) / 2 ^{※1}		
1.0 間	1,430 ∟	1,226 ∟	1,112 ∟	1,147 ∟	1,121 ∟	機構本数：1 本	
	1,940	1,736	1,622	1,657	1,631		
1.5 間	1,950 ∟	1,746 ∟	1,632 ∟	1,667 ∟	1,641 ∟		機構本数：1 本
	2,260	2,056	1,942	1,977	1,951		
	2,270 ∟	2,066 ∟	1,951 ^{※2}	1,986 ^{※2}	1,960 ^{※2}		
	2,580	2,376					
2.0 間	2,590 ∟	2,386 ∟	1,106 ∟	1,141 ∟	1,115 ∟	機構本数：2 本	
	2,850	2,646	1,236	1,271	1,245		
	2,860 ∟	2,656 ∟	1,241 ∟	1,276 ∟	1,250 ∟		
	3,760	3,556	1,691	1,726	1,700		

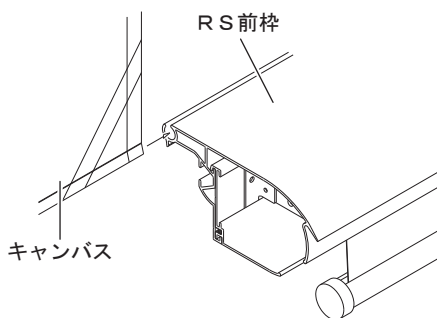
※1 機構本数が2本の場合の寸法設定を示します。

※2 構造上、2,270～2,580mmの範囲は、巻取パイプ、ウェイトバー及びキャンバス寸法は一定の値となります。

※3 キャンバスの仕上がり高さ寸法は全て (h) 2,000mmとなります。

2-5 RS前枠の取り付け

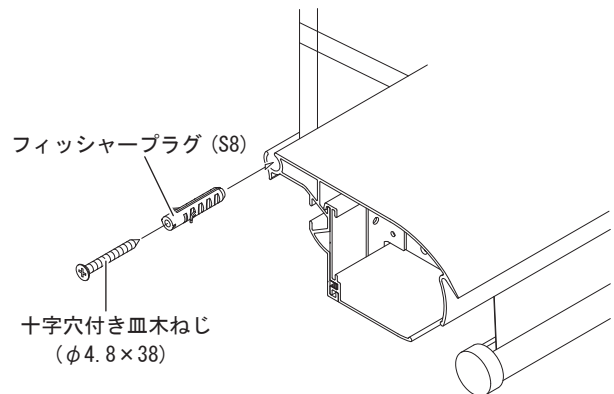
[1] チューブがセットされたキャンバスをRS前枠に挿入します。



[2] 左右のチリ (15mmずつ) を合わせてからフィッシャープラグで固定します。

[注意]

チューブはフィッシャープラグ分、短く切っておいて下さい。



[3] 前枠金具及び水平器のセット

水平器は中央に固定し、前枠金具は各位置で仮止め状態にしておきます。

※前枠形材端部から前枠金具の芯寸法です。

Fサイド側：93mm

Dサイド側：(手動) 104mm

(電動) 106mm

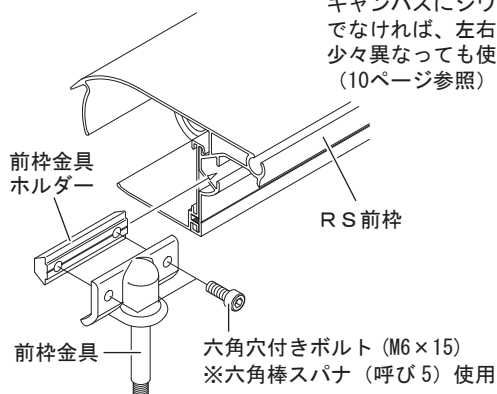
(電手動) 101mm

※上記寸法は目安です。

製品間口やキャンバスの種類等によって多少ズれる場合があります。

キャンバスにシワを発生させる程のズレでなければ、左右のアームバランスが少々異なっても使用上問題ありません。

(10ページ参照)



[4] RS前枠キャップの固定

RS前枠キャップの突起部を前枠のホルダー溝に挿入し、締結部品で固定する。

